

日本共産党 区議会議員



石田 ちひろ

日本共産党品川議会控室 TEL 03-5742-6818
すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2014年11月2日
ちひろニュースNo.51

日本共産党 一般質問

区長・区議補選での争点が

次々前進!



第3回定例議会、2日目(10月24日)。日本共産党を代表して一般質問を行いました。

10月5日投開票で行われた区長・区議補欠選挙後、最初の区議会(第3回定例会)が23日から始まりました。共産党の一般質問には初日に飯沼幹事長。翌日は私、石田ちひろが質問。選挙で大きな争点となった問題を取りあげ、実現を迫りました。特養ホーム増設、入院時の紙おむつ代現金支給、区立認可保育園増設など、前向きな答弁を勝ち取りました。

4カ所目がほしいと適地を 検討

共産党は特養ホーム増設を求めて、繰り返し質問を続けてきました。今議会でも質問。「区には土地もお金もある。すでに建設が決まっている3カ所後の増設は考えていないのか」と再質問でも食い下がりました。すると区は、「4カ所目がほしいということと適地を検討している」と答弁。

区は6月の議会では「現在、建設計画中の杜松小跡、平塚橋会館跡、目黒駅前のみやこ荘跡の3カ所が完成してから考える」「土地の確保に東京都の補助金が出ないから」と増設には後ろ向きでした。



区長・区議補欠選挙での訴え、区民との取り組みが区政を動かす

先の区長・区議補欠選挙で「23区最低の福祉」を告発し、「品川の特養ホームの待機者は640人。3カ所増設完了し

でも足りない。さらなる増設計画を」と訴え、求めてきました。

この間の28回にも及ぶ区民の請願運動と、共産党の議会での頑張り、そしてこのたびの選挙戦でのたたかいが大きな成果に結びつきました。

区長は「特養ホームの整備など：福祉施策の充実」を公約しました。今後も待機者ゼロへ「区長は公約守れ」と求めてさらに頑張ります。



今年12月に開設予定の杜松小跡の特養ホーム。

入院時の紙おむつ 代現金支給も「検討」と答弁

区長・区議補欠選挙で大争点となった「23区最低の福祉」。多くのかたから共感の声・驚きの声が出せられ衝撃をあたえました。「ため込まれた区民の税金777億円を使って底上げを」と求めてきました。

その中のひとつ、入院時の紙おむつ代の現金支給。支給していないのは23区中品川区だけ。共産党は現金支給すべきと求め続けてきました。今議会では「検討する」と答弁。実現すれば「23区最低の福祉」の底上げへの第一歩となります。

区は28日の厚生委員会で、支給方法など今検討中、財源をどうするかなど具体的な検討がされている旨の姿勢を明らかに

しました。区民のみなさんと共産党が力合わせれば、区政を動かせると改めて実感します。引き続き頑張り



他にも質問しました

- ブラック企業・ブラックバイトの根絶を
- 暮らしと経済を破壊する消費税10%への増税は反対を
- 来年4月からの要支援者へのヘルパー・デイサービス取りあげやめよ
- 品川でも高齢者や障害者などの移動の権利を保障するコミュニティバスの運行を

※共産党品川区議団ホームページに掲載

無料 法律相談

とき：11月28日(金)

時間：18：00～

場所：石田ちひろ事務所

弁護士さんと話しをうかがいます。

事前にご連絡ください。

5742-6818

日本共産党品川地区委員会主催